

# 赤十字しずおか

Japanese Red Cross Society SHIZUOKA



2016  
VOL. 113

回 覧

人間を救うのは、人間だ。

## いのちの授業

〈特集〉青少年赤十字(JRC)

### 赤十字

静岡では、JRCを通じ  
防災教育に役立ててもらう  
ため学校にテキスト教材・資  
料を提供。各学校で「いのち  
の授業」がはじまっ  
ています。

# 学校では、「いのちの教育」が はじまっています。



これまで、青少年赤十字が取り組んできた防災は、発災後の自分が助かったことを前提とした救急法などが中心で、「人を助けるためには、まずは自分が生きなければならない」という視点がありませんでした。そこで、東日本大震災を教訓に、自然災害に向き合ってきた日本赤十字社と現場の教員が、授業ですぐに

使える防災教材を気象庁等の監修のもと作製しました。防災の授業では、未来を担う子どもたちに、自然災害の正しい知識を身につけさせ、自分の命を守る力をつけるようにしています。そして、この授業が地域、家庭での防災意識を高め、周りの命を救うことにつながっていくことが目標です。

## 防災教材

防災のカリキュラムを  
紹介したテキスト教材

避難するときに  
何を持ち出すかを  
考えるためのマグネット

防災教育を  
すすめるチラシ  
裏面にテキスト教材の  
具体的な活用事例を掲載

いのちの授業  
始めましょう。

まもるいのち  
ひろめるぼうさい

青少年赤十字  
防災教育プログラム

## 青少年赤十字加盟校と地域赤十字奉仕団との相互交流

各地域で、青少年赤十字加盟校と地域赤十字奉仕団が交流会を実施しています。交流会では、奉仕団員の指導により包装食袋を使った炊飯や豚汁づくり、三角巾を使った応急手当を体験。生徒の真剣な表情からも、実施の効果を知ることができます。



## JRC防災授業レポート

# 「気づき 考え 実行する」



2015年12月6日は、地域防災の日。静岡市立清水浜田小学校では、地域住民と全児童が一緒になって防災訓練を行いました。清水浜田小学校は海川に近く、静岡県内の中でも防災意識の高い地域です。2015年の防災訓練は今回を含め7回目、地域住民との共同訓練は初の試みでしたが1091名が参加し、共助の大切さを確認。その後、児童たちは教室にもどり、青少年赤十字防災教育プログラム『まもるいのちひろめるぼうさい』を教材にした授業を受けました。

「家の人と避難場所について話しましたか」

「はい」

子どもたちの元気な声が響く4年1組では、事前授業として『まもるいのち ひろめるぼうさい』に添付しているDVDを見せて予習。宿題としてでていたのが、「家族の避難場所」について。児童たちの発表は「清水合同庁舎」「テルサ」「桜ヶ丘公園」などに加え、マンションやホテルなど高い建物の意見が多くでした。津波を想定しているから、この地域特有の危機感の強さを感じます。

つづいて担任の安藤美奈先生が児童たちに問いかけたテーマは、「何をカバンの中に入れて逃げるか考えよう」。先生が手にしたカバンのイラストのマグネット教材(赤十字静岡が提供)に、「なに？」という児童たちの目がきらり。

これは避難に必要なものは何かを考えさせる教材で、カバンのイラストのB4サイズほどのマグネットに、水、毛布、お金、携帯電話、服、食料、薬などの所持品が描かれた

マグネットが用意されています。所持品マグネットはサイズが異なり、全部をカバンの中に入れることはできません。重なったり、はみ出してはいけないのがルールです。何を優先して、何をあきらめるかが問われます。

児童たちは4人一組の班に分かれ、班ごとに何を持ち出すかを話し合い決めることに。時間は、わずか3分。地震が起きて、持ち出す際の時間を想定してのことです。児童たちは、お互いの意見をぶつけ合いました。食料、衣料、水までは共通しますが、この先がまとまりません。

祖父母のために「薬」をカバンの中に入れていた班が多くありましたが、「お金」「写真」という意見も。議論が白熱して全部の班の発表には至りません。3分という時間の短さも、身をもって体験する場にもなったようです。

そして、授業の最後に安藤先生が児童たちに言いました。「持ち物は大切です。ですが、いのちはもっと大切です。時間がないときは、何も持たず逃げてください」

# 「いのち」のための、いのちの授業。



教務主任  
佐藤秀次先生

## 他校と情報交換をして、さらに防災教育を進めたい。

本校では、「気づき 考え 実行する」というJRCの実行目標をそのまま、校訓としています。そして、防災に対する意識も高く、防災訓練や授業なども積極的です。防災教育をするには、目に見える資料があると助かります。そのため、すべての先生がすぐ見られるように、各自のパソコンの中に日赤の防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」の内容をダウンロード済みです。今後は、他校の取り組みなどの情報をいただいて、他校と情報交換をしていきたいです。

## 自分と違う考えがあることを学ぶ

今回は、何が必要かを考えましたが、次はなぜ必要かを考えていきます。自分と人では違うことを学ぶ機会にもなります。初めての授業でしたが、日赤の資料はとても役に立ちました。児童たちはDVDを流すと、途中で「止めて」と言って、メモをとっていました。避難する際に持っていく物品について考えるマグネットも、使いやすくわかりやすかったですね。児童の関心をひく効果がありました。



担任  
安藤美奈先生

## 家族で防災の話をするきっかけに

今回のような防災授業があったために、家族で防災の話をするきっかけになりました。実際に授業を聞いていると、親の自分が反省する点も少なくありません。例えば、家に災害時の持ち出し品を用意してあるのですが、その場所を知っているのは自分だけだったことに気づきました。その場に自分がないことも考えられますので、子どもたちに教えておくようにします。



保護者  
土屋晶子さん

## 結局、大切なものは「いのち」だって教わりました。

### 授業を受けた4年生の感想。

地震が起きて逃げるときに、いっぱい持っていきたくて、結局は大切なものは「いのち」だって教わりました。(男子)

マグネットを使った授業は、わかりやすく、面白かった。でも、何を持っていくかは難しかった。(女子)

ぼうさいでいろいろしんはこわいんだなぁと思いました。いのちをまもるといことはとてもたいせつなんだなぁとわかりました。(女子)

ぼうさいのことでしんのときどうすればいいかとかよくわかりました(女子)

ぼうさいのことが知ることができたのも、うれしいけれど、やっぱり、みんなとできたことがいいですね。(男子)

ぼうさいのことが知ることができてよかったです。これからもつなみやしんにきをつけていきたいです。(男子)

実際となると、パニックになって必要なものを持ち出せるか心配。人とこんなに意見が違うとも思わなかった。(女子)



# 赤十字の精神を、学校教育の中に。 いのちの大切さを、子どもたちに。

## 青少年赤十字とは？

青少年赤十字(Junior Red Cross, JRC)の目的は、児童・生徒が人道・博愛の赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、望ましい人格と精神を自らが形成することです。



## JRCの特徴は？

子どもたちが「気づき・考え・実行する」過程を重視し、単なる技術伝達でなく「やさしさ」や「思いやりの心」を育みます。JRC活動は学校の教育活動そのもの。その学校の教師が指導者となって、各学校の教育計画の中に位置づけて実施し、学校、地域社会を活動の場としています。

## JRC活動するグループは？

JRCは学校教育の中で展開されます。その活動は、クラス単位、学年単位、委員会や部活動単位、学校単位など、学校の状況に合わせてさまざまです。

## JRCの活動指針は？

～JRCの3つの柱～

- いのちと健康を大切に
- 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する
- 広く世界の青少年を知り、なかよく助け合う精神を養う

## JRCの活動内容

### 健康・安全

基礎的な応急手当の習得、災害に対する備えなど、健康・安全のための知識や技術を学びます。

- けがの手当や心肺蘇生などを学びます。
- 炊き出し訓練を通じて災害に対する備えを学びます。



### ボランティア活動

高齢者施設訪問や地域の清掃、募金活動などを通じて、学校外の人たちと交わりながらボランティア活動を実施します。

- 体験を通して、車いすの扱い方や高齢者への理解を深めます。



### 国際理解

赤十字のネットワークを通じて、世界が抱える諸問題を学んだり、海外の仲間たちとの交流を通じて、国際理解を深めます。

- 海外の赤十字社のネットワークを通じて支援・交流事業を行います。



詳しくは、日本赤十字社静岡県支部のホームページへ。

高校生メンバーで組織された高校協議会定例会の活動報告や防災教育、

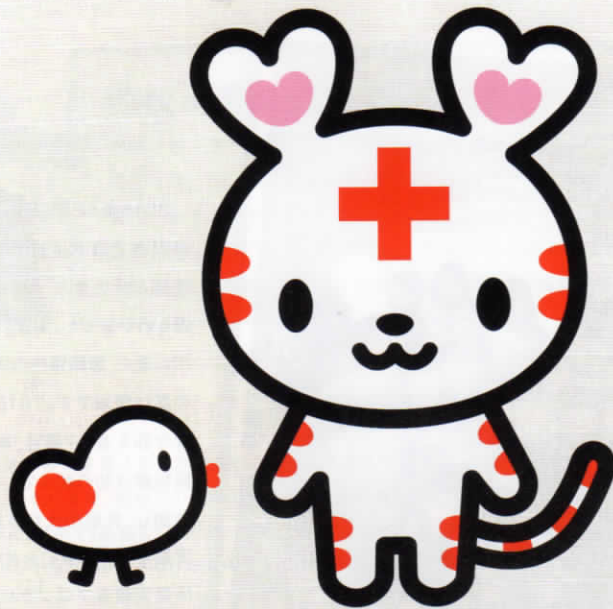
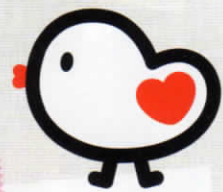
JRCの最も特徴のある教育プログラム「リーダーシップ・トレーニングセンター」などを掲載しています。



CROSS  
TOPICS!

はじめまして、日本赤十字社公式マスコットキャラクター

ハートラちゃんです。



ハートちゃん

### ハートラちゃんプロフィール

住んでいるところ ... ハートランドの森  
誕生日 ... 5月8日  
好きな食べもの ... ハート形のさくらんぼ  
自慢 ... 生まれつきおでこにある赤い十字の模様  
夢 ... ひとりでも多くの「苦しんでいる人」を救うこと

### ハートちゃん

ハートランドに住む心の友。  
ハート形の翼がチャームポイント。  
かわいい歌声で、みんなの心を癒します。

「苦しんでいる人を救いたい」という強い思いで、ハートランドの森からやってきたハートラちゃん。  
おでこの赤い十字の模様、大きなハート形の耳や真っ白な体に赤いしま模様がチャームポイントです。

## PRESENT!

「ハートラちゃんぬいぐるみ(10cmのキーホルダータイプ)」を**10名様**にプレゼント!  
以下を明記のうえ、郵送・FAX・メールでご応募ください。

①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかvol.113のご意見・ご感想

※回覧でお読みになった方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.113希望」とお書きください。なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～④を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募先

郵 送：〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17  
日本赤十字社静岡県支部 組織振興課  
FAX：054-254-5830 メール：koho@shizuoka.jrc.or.jp

応募締切

平成28年6月30日(木)必着  
当選者発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17  
TEL 054-252-8131 <http://www.shizuoka.jrc.or.jp>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。